


# 一般質問

## 市政への質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。各議員の質問項目は下記のとおりです（質問順に掲載）。

<p>① 荒船 功（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 財政</li> <li>2 学校再編</li> <li>3 ため池の耐震調査結果</li> </ol>	<p>⑥ 出浦 章恵（日本共産党秩父市議会議員団）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 保育士の処遇改善をすべき</li> <li>2 民間保育園運営費補助金廃止の理由は</li> <li>3 田村地内土砂たい積の現状と動きは</li> <li>4 国民健康保険税は広域化でどうなるのか</li> </ol>	<p>⑪ 富田 俊和（サンライズ秩父）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 活力の見えるまちづくり</li> </ol>
<p>② 高野 宏（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 歴史文化伝承館等の活用</li> <li>2 教育行政、奨学金・エアコン設置状況</li> <li>3 児童生徒の危機管理</li> <li>4 リサイクル事業、資源回収支援事業</li> </ol>	<p>⑦ 黒澤 秀之（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 (仮称)森林環境税創設に伴う林業振興</li> <li>2 公共交通機関維持に向けた秩父鉄道支援</li> <li>3 人口減少対策としての不育症検査・治療</li> </ol>	<p>⑫ 清野 和彦</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 若者政策・若者議会</li> <li>2 国民健康保険</li> <li>3 市の長期財政見通しと財政プラン</li> </ol>
<p>③ 山中 進（日本共産党秩父市議会議員団）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 介護保険制度</li> <li>2 子育て支援</li> <li>3 青年サポート事業</li> <li>4 障がい者支援 等</li> </ol>	<p>⑧ 福井 貴代（公明党）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 タブレット活用で聴覚障がい者窓口支援</li> <li>2 乳がん検診時高濃度乳腺の通知</li> <li>3 要介護の改善を促すケアを評価する仕組み</li> </ol>	<p>⑬ 浅海 忠（市民の会・絆）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 秩父市行財政の進捗状況</li> <li>2 ジオパークを活用した観光・地域振興</li> <li>3 災害時における議会・議員との連携</li> </ol>
<p>④ 木村 隆彦（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校教育</li> <li>2 花の木小学校南門付近の交差点</li> <li>3 市からの消防団員への伝達の現状</li> <li>4 町会が設置している防犯灯</li> </ol>	<p>⑨ 大久保 進（公明党）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 婚活支援</li> <li>2 防災士の現状</li> </ol>	 <p>スマートフォンやタブレットでも視聴することができます。</p>
<p>⑤ 金崎 昌之</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 放課後学習支援の現状と今後</li> <li>2 コミュニティ・スクールの課題</li> <li>3 地域救急医療体制のゆくえ</li> <li>4 住宅の耐震化促進へ</li> </ol>	<p>⑩ 落合 芳樹（サンライズ秩父）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 人口急減社会</li> <li>2 空き家・空き地</li> <li>3 子どもの医療費補助</li> <li>4 教育行政</li> </ol>	

※市議会ホームページのインターネット中継で、一般質問の様子をご覧いただけます。

## ため池の耐震調査結果

**問** 東日本大震災で、福島県須賀川市の農業用ため池「藤沼湖」が決壊して、近くの7人が死亡、1人が行方不明になったことから、農水省は、26・27年度にかけて、自治体に補助金を出して調査を実施した。下流や周囲に民家や公共施設があるなどの理由で、自治体が優先して調査した結果、3095か所のうち58%の1787か所で水をせき止める堤体が耐震不足だとの調査結果を公表した。埼玉県は、29か所調査して9か所のため池が耐震不足という結果であったが、市内のため池の調査結果は、

**答** 市内の農業用ため池として、台帳整理されている「ため池」19か所について、国の基準に基づき調査を実施した。この結果、17か所のため池については、詳細な点検調査や改修等の緊急性はないが、久那地区の「弁天池」と大野原地区の「峰沢池」の2か所については、民家や公共施設等が近いことから、より詳細な点検が必要となった。そのため、28年度に国・県の補助金を活用し、詳細な耐震点検調査を実施した。その結果、どちらの「ため池」も堤体の

清流クラブ

荒船 功

いさお



ひび割れや陥没は無く、地震動による液状化も発生しないと判断された。しかし、「弁天池」は、地震動で直ちに決壊する可能性は非常に低いものの、新規堤体設計に用いる安全率は満たしていない結果となった。今後、国や県の指導を受けて、適正な安全率を確保するための堤体改修の必要性や施工方法等を含め、関係機関を交えて協議をしていく。



峰沢池のボーリング調査

- ◎市の財政
- ◎学校再編

# 一般質問

## 歴史文化伝承館の活用



清流クラブ 高野 宏  
たかの ひろし

**問** 歴史文化伝承館での夜祭り観覧事業の復活は。

**答** 本年3月に、市役所本庁舎及び秩父宮市民会館が竣工し、この機会に、今年度から歴史文化伝承館における秩父夜祭りの無料観覧を再開する。具体的内容は、現在検討中だが、各町会から希望者を募り、200名規模で実施する予定である。また、多くの市民の方々が観覧できるよう、町会を限定し、5年間で80町会すべてに声をかける予定である。まず、今年は秩父夜祭りの屋台・笠鉦町会14町会におこしいただく。来年以降、町会を変え、5年で一巡する形で招待していく。今回からの新しい事業として、伝承館屋上庭園と、団子坂にライブカメラを設置し、伝承館ホールでライブ映像をご覧いただき、また、ホール前のホワイエで、生の秩父夜祭りをご覧いただく予定である。

**問** 本庁舎・市民会館の完成に伴う、歴史文化伝承館の今後の使用方法は。

**答** 公民館事業等生涯学習活動については、施設の復旧を行い、従来の機能を回復し、各種事業を



市民の交流の場所となる歴史文化伝承館

行っている。歴史交流フロアーについては、新たな活用方法も含め、歴史文化遺産や文化財等の展示、市民の皆様の成果発表の場としての検討を進めている。

**問** 今年の有料観覧席の設置計画は。花火は見えるか。

**答** 夜祭り有料観覧席は観光協会が設置運営している。今年市庁舎等の建設完了に伴い、観覧席を一部変更する。本庁舎に近いブロックは花火が見えにくいことから、今年の観覧席は秩父公園をL字型に囲うように配置予定である。

## ゆき届く福祉とまちづくり



日本共産党秩父市議会議員団 山中 進  
やまなか すずむ

### ● 介護保険制度

**問** 第7期介護保険制度について、27年から利用料が(所得により)2割負担の導入、さらに次期は3割負担の導入が叫ばれている。この改正について広範な国民から批判の声が上がっている。要介護者や家族の苦しみに追い打ちをかける根拠なき3割負担は容認できない。要支援者のサービス切り捨て、自助・共助と称しボランティアなどにゆだねるなど負担を地方自治体にも求めている。第7期介護保険制度の保険料や総合事業を含め、今後の見通しと考えは。

**答** 今後は策定委員会により計画を策定していく。改正後の保険料については65才以上の保険料は1パーセントの増額が予想される。利用料についても来年8月から(所得により)3割負担となる。総合事業では訪問・通所介護について現行のサービスと緩和サービスを創設し、影響がないよう運用している。

### ● 子育て支援

**問** 学童保育室利用の多子世帯の減免制度創設の考えは。

**答** 現在、他の自治体の動向や近年の社会情勢における子育て世帯の状況等を踏まえ、1世帯2人以上の入室の場合2人目半額、3人以上以降無料とする減免基準による制度創設を考えている。



学童保育室の受け入れ準備中

- ◎ 青年サポート事業
- ◎ 障がい者支援
- ◎ 地域支援

# 一般質問

## 花の木小学校南門付近の交差点

### 交差点



清流クラブ 木村 隆彦  
きむら たかひろ

**問** 花の木小学校南門付近の交差点は、朝の通勤通学の時間帯に交通量が増え非常に危険である。この付近には、花の木保育所、秩父さくら幼稚園、花の木小学校、秩父第二中学校、秩父高校、高等技術専門学校秩父分校等多くの施設があり、それらの施設へ向かう車や児童生徒が一時的に集中し、非常に危険な交差点である。この交差点の安全対策がとれないか。

**答** 学校・市民部・地域整備部と協議しながら看板の整理やカーブミラーの見直し等を検討していく。

修し、門の幅を広げて欲しい。理由は交差点のフェンス越しの視界が広がり他方から侵入してくる車の状況が把握でき、安全が確保できる。また、学校側の要望としても、門を広げることにより修学旅行や社会科見学等で大型バスを利用する際に、市道より直接校庭内に入ることができる。門を広げて改修を行うことにより交差点の安全確保や学校側の要望等にも対応できると思うが考えは。

**答** できるだけ早期に改修工事を実施できるように協議していく。

**●南側のフェンスの改修は**

**問** 現在の花の木小学校の二中側はまだブロック塀の上にフェンスがあり、そのフェンスには案内板等が掲示され、非常に見通しが悪い状態である。このブロック塀やフェンスを改修し、見通しの良い交差点にできないか。

**答** 花の木小学校では27年度より計画的に東側のフェンスの改修を行っている。南側のフェンスも老朽化が進んでいるため、改修工事が必要な状況である。

**問** 地面まで金網のフェンスに改



早朝の交通量が多い花小南門前の交差点

## 放課後学習支援の現状と今後

### 現状と今後



かなさき まさゆき  
金崎 昌之

**問** 新たに地域ぐるみでの小中学生向け放課後学習支援「夜勉」の取組みが始まった。現状と課題、今後の継続は。

**答** 月2回で年間22回を予定。課題は、参加人数が予想を大きく上回り会場に余裕がないことなど。家庭環境の多様化などが課題になっている中、地域の力で子どもたちを育てていくという視点で、次年度以降も継続し、広げたい。

急医療体制のあり方について、市民と共に考えていく「場」づくりが求められる。

**答** 今後の救急医療体制のあり方について、方向性を議論する必要性が増している。ちちぶ医療協議会等の場で議論を深めていく。

## ●コミュニティ・スクールの課題

**問** 学校運営の課題に広く保護者や地域住民が参画できる仕組みのこの制度は、来年度市内全小中学校に導入する予定とのことだが、まだまだ市民のなじみは薄い。導入のねらいや試行段階での課題は。

**答** 地域と一体となって子どもたちを育むことを目指して導入した。課題は、保護者や地域住民、教職員へ設置目的や効果について周知徹底することがあげられる。

## ●住宅の耐震化促進へ

**問** 昭和56年5月以前に建てられた住宅の6割が現行耐震基準を満たさないとのこと。県内他市に比べて極めて補助が低いので耐震化の促進のために拡充が必要。

**答** 予算措置の協議を進めていく。

## ●地域救急医療体制のゆくえ

**問** 地域医療の充実、市民の切実な願い。危機的な事態にある救



市が各家庭に回覧した「戸建住宅震災対策啓発リーフレット」

# 一般質問

## 国民健康保険税は

### どうなる

日本共産党秩父市議会議員団

出浦

章恵



等で検討していく。

## ●国民健康保険税

**問** 県の第3回シミュレーションが示されたが、納付金の試算はどうか示されたのか。

**答** 29年度納付金試算額と27年度納付金相当額を比較して、激変緩和措置を算定し、市の納付金額はいくつか示された試算のうち、激変緩和措置の対象となる税額の増加割合を自然増のみとした場合の試算で16億8093万円となる。

**問** 一人当たりの保険税必要額は、10万246円と示された。

**答** 今後のスケジュールは、県は29年11月に仮算定、30年1月に本算定を行い、各市町村に確定納付金を提示する予定としている。市では、国保運営協議会等を適時開催して、賦課税率等の改正等協議していく。

**問** 今後一般会計からの法定外繰入はどのように考えているのか。

**答** 市は現在、資産割を含め4方式で賦課税率等は県内市町村中、低い方となっている。被保険者の所得や世帯状況を精査し実態を踏まえ一般会計からの繰入による税負担軽減、健全な国保運営を十分考慮し、国民健康保険運営協議会

## ●民間保育園の運営費補助

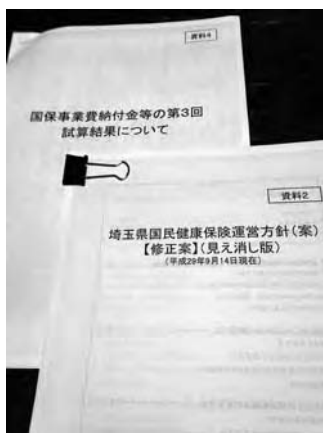
### 金廃止

その理由は、

**答** 保育制度が大幅改正され、補助金内容を精査した。時期的な関係で28年度当初予算に反映できず29年度から適用した。

**問** 廃止の見直しの考えはないか。

**答** 保育事業者の意見を聞き補助内容を模索・精査していく。



埼玉県から示された資料

◎保育士の処遇改善を  
◎田村地内土砂たい積の現状は

## 森林環境税創設に伴う

### 林業振興

清流クラブ

黒澤

秀之



**問** 秩父市有林の森林管理認証取得状況と東京五輪新国立競技場建設に対する働きかけの状況は。

**答** 28年12月19日付で埼玉県初の森林管理認証を取得した。五輪関連施設建設への対応として、建設企業、大手木材メーカー、全国木材組合連合会へ働きかけを実施している状況である。

**問** (仮称)森林環境税の創設が噂されるなか、森林面積87%を有する市としての対応は。

**答** 当市は、県内63市町村で唯一、林業を専門に行う「森づくり課」を有しており、森林環境税創設後は市の役割が重要になるため、対象事業の速やかな履行に向けた人材育成の観点から、林業職員を新たに確保し、創設後の対応をしっかり行っていく。

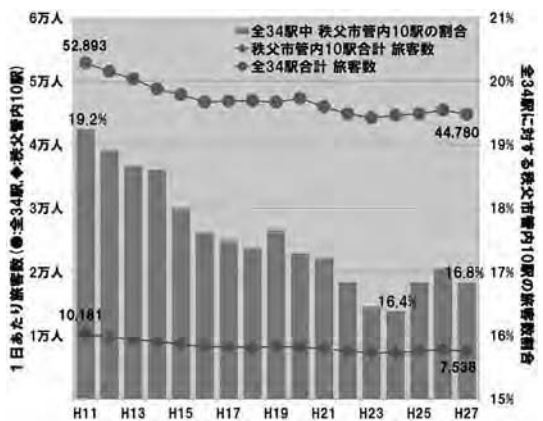
## ●公共交通機関維持に向け

### た秩父鉄道への支援

**問** 秩父鉄道Sレプレオエクスプレスが、運行開始し30周年が経過した。秩父鉄道は、旅客が利用する全34駅中10駅が、市に所在しており、公共交通機関としてなくてはならない存在である。人口減少

に伴う利用数減少を市としてどのように支援、対応していくのか。

**答** 秩父鉄道は、市にとって重要な公共交通機関であり、沿線8市町で構成する秩父鉄道整備促進協議会を通じて、安全対策事業への支援やイメージアップ・PR事業、国・県への要望活動をより一層展開していく。また本年度は、埼玉県主導による「県内公共交通のあり方検討会」なども開催されており、積極的に関与していく。



秩父鉄道における旅客数推移(秩父管内10駅と比較)

◎人口減少対策としての不育症検査・治療